

げんでん 福井 ふれあい

GENDEN FUREAI FUKUI

2003 第17号 AUTUMN



- 全高総文祭'03福井
熱く燃えた高校生の祭典
- 敦賀市中学生イギリス親善派遣
帰国座談会
- 福井市愛宕坂茶道美術館と
その周辺を訪ねて

ふくらまそう ゆめ・愛・希望・人 文化
第4回 ふくい県民文化祭
オープニングフェスティバル



「近松おどり」を発表する立待近松おどり保存会のみなさん=小浜市文化会館

第4回ふくい県民文化祭(当財団協賛)のオープニングフェスティバルは9月7日小浜市文化会館で行われ、11月19日までの約2ヶ月間、県内各地で繰り広げられる文化・芸術の祭典が幕を開けました。

オープニングステージでは、本県が主要生産地であるマリリンパの演奏で幕開け。鯖江市出身の平岡愛子さん、今庄町出身の山崎聖里さんが「赤こんぼ



小浜讃歌「人魚の子守歌」を披露する小浜讃歌合唱団



「古都消滅」を演ずる日本民族衣裳源流会

など名曲を奏で満員の聴衆を魅了しました。

式典では、実行委員長を務める山田石雲県文協会長が開会宣言。大会会長の西川知事は「14日には若狭路博のメインイベントが開幕、この文化祭を盛り上げるのきっかけにしてほしい。また平成17年に本県で開催される国民文化祭の成功につないでください」と呼びかけました。

ステージでは、公募による8つの文化団体がバレエ、箏曲、吟舞、民

謡民舞、合唱など日頃の練習した成果を次々と披露し、会場から大きな拍手が送られました。

最後に秋の若狭路を彩る「放生祭」の「おはやし会」では、多賀、鹿島など4区から約百人が神楽や勇壮な獅子舞、優雅なお囃子を演じて、会場を盛り上げました。

また、会場には茶席が設けられたほか、県内の華道各流派の作品が展示され、約千人の来場者は、文化・芸術の秋の訪れを楽しんでいました。



「放生祭」の出し物に出演する「おはやし会」の演技披露

・第4回ふくい県民文化祭開幕	2・3
全高総文祭 in 福井	
・熱く燃えた高校生の祭典	4・5
・敦賀市中学生イギリス親善派遣 帰国座談会	6・7
・福井市愛宕坂茶道美術館と その周辺を訪ねて	8・9
・伝統芸能シリーズ「小浜放生祭」	10・11
・デザイン マインド コンペティション 2003公開審査会	11
・福井の文学碑(シリーズ8) 紫式部歌碑(武生市)	12
・敦賀市立博物館所蔵絵巻誌上展	13
・情報ファイル(第7回福祉委員会外)	14・15

表紙の説明

福井県指定無形民俗文化財

下村の獅子舞(名田庄村)



下村の獅子舞は名田庄村下区に鎮座する
阿由比売神社に残る伝承芸能です。

毎年10月3日の尚神社の例祭には神楽・獅子などの一部が奉納され、5年目毎に大祭が行われ大神楽(全芸能)が奉納されます。表紙の写真は、本年9月21日、若狭路博の海会場(小浜市川崎3丁目)交流センターで開催された伝統芸能部門で披露された舞です。

舞の内容は、六つの舞がありますが、表紙の舞は「四方舞」で、獅子の他に「ひよっこ」が遣役として出る舞です。別名「獅子隠し」ともいわれています。

雄獅子を思ふ雄獅子の心の内を表現した舞で、「ひよっこ」は太鼓とササラの音で雄獅子の心の高鳴りをあやし、緩やかに静めていくユーモラスな舞です。

19 フェスティバル 文化・芸術の秋一色

ふくらまそう

ゆめ・愛・未来・人・文化



「眠れる森の美女」プロローグより「妖精たちの踊り」を舞う
フクイバレエ団・研究所=9/7 小浜市文化会館

第20回国民文化祭に向けて 山川石雲氏に聞く

「平成17年秋、本県で開催される国民文化祭の美事計画大綱が決まりました。ふくい県民文化祭実行委員長としてのこの心機のお話を聞かせてください。」

ふくい県民文化祭は、国民文化祭の福井県開催が内定したことを受けて、従来の県芸術祭等を発展、拡充して立ち上げられたのです。そのふくい県民文化祭の開催を通して積み上げてきた成果を国民文化祭に生かしたいと考えています。

国民文化祭の基礎ともなる「ふくい県民文化祭」も4年目となります。各分野での成果をどのように評価しておられますか。

どの分野も参加団体が十分協議を重ね、工夫してフェスティバルを開催し



社福井県文化協議会
会長 山川石雲氏

「国民文化祭のあり方や国民文化祭への特色付けなどのお考えをお聞かせください。」

ふくい県民文化祭に参画してきた各文化団体の代表者が国民文化祭の企画に関わることで、県民文化祭で培われたノウハウを国民文化祭の企画運営に生かし、「ふくい文化」の継承と創造につなげられると考えています。

16年度に予定されているプレフェステ

「ふくい県民文化祭は、行政、文藝、文化団体等関係者の協働により成功することができたと思います。国民文化祭も、その基礎と協働関係を保ちながら準備に加わっていきたい。また、国民文化祭は、専門的な文化・芸術の発表の場であるだけでなく、県民参加型事業など誰でも気軽に参加していただけるイベントであることを広く知らせていきたいと考えています。」

8月の全国高校総合文化祭福井大会が大成功を取めたように、行政、文化団体をはじめ、県民総参加のイベントとして成功させたいものです。

15年度の方針別フェスティバルは、9月14日、吹奏楽部門が敦賀市民文化センターで、邦楽フェスティバルはハートモニーホールふくいで開催されたのを皮切りに、11月19日まで約2ヵ月間、県内28会場で、音楽、舞踊、美術、文学など19部門で開催されました。

特に今年から「太鼓フェスティバル」「児童文学のつどい」が新たに加わり、日頃の活動成果や展示などを披露し、文化・芸術の祭典を盛り上げました。

平成17年秋には、全国各地でさまざまな文化活動を行っている方々を本県に迎え、文化の国体と言われている「第20回国民文化祭・ふくい2005」の開催が予定されているだけに、国民文化祭の環境づくりの基礎となるふくい



県民大茶会で学生茶席に参加した高校生ら=9/28 敦賀市プラザ鳥家

県民文化祭の充実、発展に大きな期待が寄せられています。

部門によっては国民文化祭に向け「福井らしさ」を創作する演劇や舞台を発信しようという流派などを



約1,000点の作品が展示された県美展=10/3~13 県立美術館

超えての新しい取り組みがなされています。

合唱部門では、国民文化祭の開催の合唱団として出演することを目標に「フェスティバル合唱団」を編成、11月16日、敦賀市民文化センターで開催されたフェスティバ



「日本舞踊の祭典」で優雅に演じる「菖蒲浴衣」の舞台=10/13 福井市文化会館

財団では、本年度より同文化祭に正式に協賛。分野別フェスティバルに参加する団体の技能向上のための事前研修や国民文化祭に向けての創作活動経費に支援する助成制度を設けており、本年度は13団体に助成支援を行いました。

ルでは、浅井敬壹氏の指揮で合唱組曲「海鳥の詩」を発表し、会場を沸しませた。



全高総文祭
'03福井

熱く燃えた高校生の祭典



8月8日から12日までの日程で本県で初めて開催された第27回全国高等学校総合文化祭福井大会。県内を含め全国から約2900校、集まった高校生、約1万9千人が参加。
「心の泉より湧き出る文化よ 大河となり海を成せ」をテーマに、若い感性、創造力が熱く燃えて、未来を切り開く力を示してくれました。期間中、県内7市と春江町を会場に全4部門で活動成果の発表や展示などを行い、手造りの企画を通じて、数々のドラマを生み、友情の輪と感動を深めました。文化部の「インターハイ」とも言われる全高総文祭福井大会で高校生たちが見せた姿を拾ってみました。

総合
開会式

大合唱

大会イメージソング「未来」を大合唱する参加高校生たち。会場と一体になり感動のフィナーレ＝B/B. サンドーム福井

総踊り

総合開会式・県内高校生の発表舞台で「Itchorrai 2003」総踊りを披露する県合同ダンスチーム



オープニング
マーチング

大会のオープニングを華麗なマーチングで告げる仁愛女子高校マーチングバンド・ドラムコー



手話
コーラス

「世界に一つだけの花」を手話コーラスで熟演する盲・ろう・養護学校合同チーム



吟詠
剣詩舞

「独奏吟」を力強く華麗な演舞で締めくくった県合同吟詠剣詩舞チーム



三国祭山車巡行

郷土芸能部門で坂井郡内4高校合同チームが会場を繰る「三国祭山車巡行」



合唱部門

「タコ焼き屋のおばちゃん」を持ち味生かして発表した
大阪府立清水谷高校合唱チーム＝
8/10 敦賀市民文化センター



伝統芸能をアレンジした創作太鼓を演奏する 福井農林高校郷土芸能部＝8/12 福井市フェニックス・プラザ

郷土芸
福井農林高
文化庁長官賞

福井農林高校郷土芸能部は県無形民俗文化財「明神ばやし」をアレンジした創作太鼓「悠々の大地」を迫力みちた響きで会場を魅了。審査の結果、県勢では初の快挙、文化庁長官賞に選ばれました。

郷土芸能部門は、8月10・11日の両日、福井市のフェニックス・プラザで開催され、全国から43チーム約千人が参加して、それぞれの地域に根付いた郷土芸能などを披露しました。

本県勢入賞などで大活躍



④甲府市立甲府商業高校バトントワリング
⑤福工大附属福井高校マーチングバンド

パレード

開幕を祝って全国のマーチングバンド・バトントワリング部を中心に約1600人が福井市中心部をパレード。台風10号の影響で時折雨が降る中、元気よく笑顔で行進。沿道の市民から温かい拍手が送られました。

小倉百人一首かるた

全国から代表31チームが参加して行われた小倉百人一首かるた団体戦Ⅱ
ハートピア春江

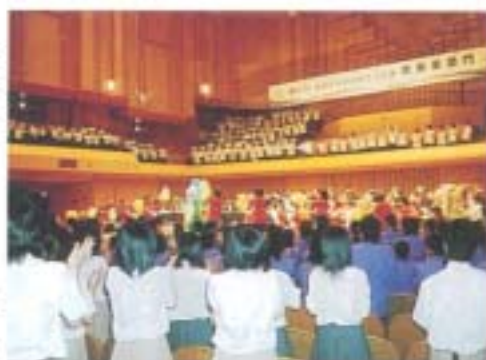


囲碁女子個人戦、強上善戦の福井さん＝8/12 福井市・県民会館

開幕（女子個人戦）福井さん（碁）準優勝

囲碁部門は8月11・12日、福井市、県民会館で、全国から219名の選手が参加して対局戦が行われました。
本県代表として女子個人戦に出場した福井景子さん（藤島高2年）が準優勝を飾りました。2年生ながら、7月の全国高校囲碁選手権大会3位に続いて全国上位入賞となりました。

吹奏楽部門
笑顔と涙の
フィナーレ



吹奏楽部門閉会式に会場一体となって大合唱＝8/12、ハートモニーホールふくい

吹奏楽部門は8月11・12日の2日間、県立音楽堂で45団体約3千人がステージで演奏を繰り広げました。大トリは、数賀気比、美方、若狭の3校でつくる「わかさ吹奏楽団」がホスト県らしく熱いサウンドを響かせ、会場の拍手を誘い盛り上げました。閉会式では、舞台と観客が一緒になって大合唱。ポラントピアスタップも登場し、地域や学校の絆を超え、体一杯の喜びと涙がフィナーレを飾っていました。

敦賀市中学生イギリス親善派遣

財団と日本原電の共催により敦賀市内の中学生5名が東海村（茨城県）の中学生5名と合同で7月18日から27日までの10日間イギリスを視察訪問しました。

この派遣事業は、国際的視野に立った若い人材の育成と友好親善を深めることを目的に日本原電の海外協力会社のBNF社との協力を得て実現したものです。今回の派遣事業に参加した中学生と同伴の先生に、帰国後、イギリスでの体験などを語る座談会を開きました。



プレゼンテーションに浴衣や法被姿で参加した派遣団のみなさん

〔参加生徒〕

- 河原 佳幸 君 (気比中)
- 松木亜里紗さん (松陵中)
- 本庄 優貴さん (角鹿中)
- 佐藤 加奈さん (栗野中)
- 上坂 朱美さん (栗野中)
- 〔同行教員〕
- 辻村 完先生 (角鹿中)

＊イギリス訪問日程＊

7/18日	13:39 敦賀発、成田空港へ 成田にて東海村中学生と合流し、経団式 2155 エールフランス航空で成田発
7/19日	早朝(バス) 乗り換え、マンチェスターへ(夜10) 到着 専用バスでセラフィールド(14:10)着 BNFL社主催の歓迎会 [生徒ホームステイ]
7/20日	清水地方観光(遊覧船乗船、ピーターラビット記念館) [生徒ホームステイ]
7/21日	プレゼンテーション(市長夫妻、中学校長ら出席) ビクターセンター内ツアー・SLS体験乗車 [生徒ホームステイ]
7/22日	水産館、10ピンボーリングなど観光 夕方、フェアウェルパーティ [全英日NFLゲストハウス宴会]
7/23日	セラフィールドからストラットフォードへ移動 ストラットフォード・アボン・エイボン (シェイクスピア生家)見学 [ストラットフォード回]
7/24日	ストラットフォード→オックスフォード→ロンドンへ移動 オックスフォード(クライストチャーチ) ロンドン市内(タワーブリッジ、大英博物館)見学 [ロンドン回]
7/25日	ロンドン市内観光、ナショナルギャラリー パキントン美術館、ウエストミンスター寺院など見学 [ロンドン回]
7/26日	9:15 ヒースロー空港発、パリ経由エールフランス 航空で帰国の途へ
7/27日	7:50 成田着、解団式後、敦賀へ(帰国)

ホーム
ステイ

言葉を越えて、感動の
ふれあいを体験

はじめてイギリスへ行かれて、まず、その第一印象は

河原、佐藤 夏とはいえ、日本と較べてとても暑かった。日中でも20度位でした。松木、上坂 セラフィールド地方は、自然に恵まれ、景色はともきれいで、のどかな所だと思いました。本庄 車中からみたところ、広い丘陵地に羊がたくさん放牧され、緑の自然に恵まれていると感じました。

に感銘を覚えました。

イギリスでの4日間ホームステイされましたが、ホストファミリーとの生活はどうでしたか

河原 今回の旅行で一番楽しかったことはホームステイです。家族がとても優しく、親切にしてくださいました。ジェスチャーを交えた英会話で互に通じ合えるなど、初めての出会いで、「コミュニケーションの大切さ」を学びました。



本庄さん

辻村 高速道路走行中、車窓からみた目では、広い草原の姿、多くの羊や牛の様子は飼われているという感じではなく、放されている感じで、動物の生活しやすい自然環境が今なお保全されていること



河原君

松木 はじめは少し緊張しましたが、いつも笑顔で接してくれたので、すぐに仲良くなることができました。みやげの浴衣を贈ってあげたり、折紙のおり方を教えてあげたりして、日本の文化も伝えることができたと思います。

4日目にコーブランド市長夫妻が出席したプレゼンテーションが催されたようですが、その時の様子は、

上坂 私のホストファミリーは、お父さんが医者、お母さんが看護師、私と同じ歳のレベッカ、12歳のハニナ、10歳のジヨミアの3兄弟でした。教会やスーパーに連れていってもらうなど家族ぐるみのふれあいに感動の連続でした。食事も口に合う調理まで大変うれしかったです。セラフィールドでは、周辺地域の観光もされたようですが、

全員 湖水地方(レイク・ディストリクト)は英国では有数の観光地といわれ、ウインダムニア湖での遊覧船に乗ったり、ピーターラビットミュージアムの見学などが印象的でした。また、ホームステイだけでなく、ホスト家族や生徒同士の交流で英会話も楽しむ雰囲気を感じることができました。



訪英体験談を語る参加者のみなさん＝
7/31・原電敦賀地区本部会議室

佐藤 私は代表して、敦賀市長さんからのメッセージを読みました。初めは緊張しましたが、コーブランド市長さんの笑顔を見て、はつきりとうまく伝えることができました。



佐藤さん

上坂 浴衣を着て「敦賀とても好き好き」や「東海音頭」を踊りました。市長さんをはじめホスト家族も一緒に踊りに加わり、両国交流親善の輪を深めることができました。

本庄 市長さんの金のネックレスがすごく立派でした。当日の出発時に浴衣を忘れたため、市長さんから「ゆかたは？」と聞かれ、「Yes」と言ったら笑われました。最後に市長さんと記念写真を撮りました。

ホームステイ最終日(22日)のフェアウェルパーティーはどうでしたか。
全員 ホテルでお別れのパーティーが開かれホストファミリーと一緒に夕食の後、



コーブランド市長に河瀬敦賀市長のメッセージを読む佐藤さん

みんなでゲームやダンスをしました。河原君の笛の演奏で「ふるさと」「さくら」の歌をみんなで歌いました。終わったらみんな泣いていました。互に抱きあひながらさよならを告げ、エールの交換などを約束しました。

辻村 パーティーは予定時刻をオーバーするほどの盛り上がりでした。それとともに別れを惜しむつらい思いがこみあげてきたようです。今日、人と人との関係が薄く、薄くなっているといわれる世の中で、これほどまで別れを惜しむ体験があるだろうか？と生徒たちが感じとった貴重な体験がとても幸せに思えてきました。



辻村先生

オックスフォード、ロンドンなどを訪れイギリスの歴史、文化などにふれた市内観光で、特に印象に残ったことは、
河原 見学先で一番興味深かったのは、大英博物館でした。ミイラやエジプトの象形文字が刻まれている石、ナシヨナルギャラリーでのレオナルド・ダ・ヴィンチ

の絵など素晴らしい展示ばかりで感動しました。

松木 私の一番感動したのは、ナシヨナルギャラリーの絵画で、その美しさに圧倒されました。ロンドンでは、2階建てバス、タクシーや地下鉄に乗ったり、いろいろの体験をすることができました。イギリスの伝統的なものから日常生活までをこの目でみる事ができる本当によかったと思います。



松木さん

本庄 オックスフォードでハリー・ポッターのロケ地に行けたことで、ハリーポッターの映画に出た気分になりました。

ロンドンのバックingham宮殿でくまの黒毛の帽子、赤い洋服を着た伝統的な衛兵の交番などを見て、イギリスの伝統と歴史を重んずる姿を知ることができました。

佐藤 オックスフォードでは、きれいで、



バックingham宮殿を見学する一行

高い建物が多いのに驚きました。ハリーポッターのロケ現場「クワイストチャーチ」は最高でした。

上坂 ロンドン2日目は朝から雨で寒い日でした。昼すぎウエストミンスター寺院を見学、オルガンの音が響く静かな雰囲気の中、王室の皇や偉人の記念碑があり、イギリスの歴史の重みと深さを知ることができました。



上坂さん

今回の体験を今後どう活かされますか。
河原 ホームステイで学んだコミュニケーションの取り方をこれからの学校生活に生かしていきたいと思っています。

松木 今回の訪問でイギリスのことがとても身近に感じられました。今後は英語をもっと勉強して英会話ができるようになりたい。

本庄 今度の交流を通じて、もっと積極的に行動できるよう今回の体験を生かしたい。

佐藤 ホストファミリーの優しさは一生忘れません。イギリスでできた友達と手紙交換を続けていきたいと思っています。

上坂 これからは英語の勉強に力を入れ、普段の生活にも国際的な問題に関心を深めたい。

辻村 生徒たちと一緒に始めてイギリスを訪れ、自然環境の保全をはじめ、家は昔のままのスタイルをみんな守ろうとするイギリスの「人々の生活」を実際に目にしたり、肌で感じる事ができました。また、首都ロンドン周辺で、大英博物館などの施設を見学して、かつて大英帝国として栄えた歴史、文化、芸術などの栄華が、ある意味で、今なお想っている様子を感じ、貴重な体験でした。

福井市愛宕坂茶道美術館とその周辺を訪ねて

福井市発祥の地といわれる足羽山。その北側登り口愛宕坂。3年前に石段の景観復元工事が完成、平成11年秋、同市愛宕坂茶道美術館が、翌年、橋端賢記念文学館が開館するなど文化の拠点が形成されました。また、その周辺には、多くの史跡が点在するなど福井市のふるさと文化や歴史を探訪できる坂道となっています。

秋色漸く漂う10月中旬、その周辺を訪ねてみました。

愛宕坂・百坂

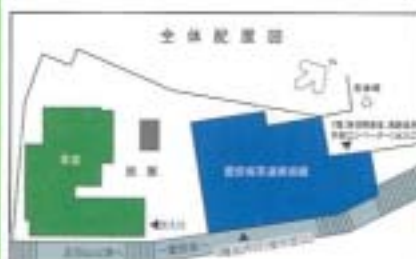
福井市足羽1丁目の愛宕坂は、足羽山への北側からの登り口にあたる坂道。愛宕山とは天正4年（1576）柴田勝家により、一乗谷から愛宕大権現社の別当寺院（天台宗・愛宕山遊楽寺松玄院）が足羽山に移されてから一般に愛宕山と呼ばれ、その登り道を愛宕坂と呼ばれるようになったといわれています。総段数140余段。笏谷石で構まれ、3年前の修復工事で、手すりが付けられ、夜ともなれば足もとを照らす常夜灯がともるなど風情豊かな石坂です。



福井市愛宕坂茶道美術館玄関

東側の登り口には百坂（百段坂）があります。愛宕坂は緩やかに尾根をのぼるのに対し百坂は山腹を直登して愛宕坂に合流する急勾配の坂道です。明治期には両者の交差するあたりに時鐘楼があつて町々に時を報じていたといわれています。また両坂を横に結ぶ道があり、橋端賢記念文学館南側から百坂を結ぶもので横坂と呼んでいます。

愛宕坂・百坂の石段は、文政11年（1828）下立矢町（現・足羽1丁目）の商人松岡屋吉兵衛が世話人となって両坂の改修が行われ、これを完成させました。工事の完了を記念し、携った石工らが彼の功を称えて彼の座像を笏谷石に刻み、その石像が今も愛宕坂の脇に残っています。



- 全体配置図
- 1 F 常設展示室
 - 2 F 企画展示室
 - 3 F 映像ロビー（玄関）
 - 4 F 展示室・会議室

愛宕坂茶道美術館

福井市愛宕坂茶道美術館は、愛宕坂の登り口に鉄筋コンクリート造り4階建、延面積409㎡のこじんまりした建物で、出入口玄関は3階になります。そこにはホールと映像ロビーがあり、映像を通じて茶道の発祥、その歴史などを知ることができます。

「一乗谷朝倉氏の茶の湯」など紹介

常設展示 (1F)

1階は常設展示室で、「略年表による茶道の歴史」「一乗谷朝倉氏の茶の湯」「茶



ホールと映像ロビー（3F）

利用のご案内

開館時間 午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）
休館日 毎週月曜日（休日の場合は、その翌日）
祝日の翌日
年末年始（12月28日～1月4日）

愛宕坂その周辺

- 橋端賢黄金舎跡 橋端賢記念文学館
- 細井順子の碑
- 橋端賢歌碑
- 松岡屋吉兵衛石像
- 足羽神社
- 経体天皇御世系碑
- 九頭電川修治碑



道の周辺文化」「近世福井の茶道」の4コーナーで構成され、茶道の歴史を中心に紹介しています。

略年表では、茶の湯は元来中国から伝来したもの、その歴史は日本の風土にあわせて独自の美意識の中で発展、安土桃山時代千利休が確立した「わび」の世界を中心として大成、茶道の発祥から今日までのあらずしが述べられています。

「一乗谷朝倉氏の茶の湯」では、遺跡の調査からわかった発掘品、茶座敷の建物跡や遺構の発見などから幅広い茶の湯の文化を解説しています。また、出土した茶碗、茶道具などを復元展示しています。

「茶道の周辺文化」では、茶道との関り深い文化として生花、香道、絵画、建築などを紹介し、茶道文化の影響の広がり示しています。

「今日に伝わる福井の茶道」では、福



「曙覧と蓮月」特別展を開設した企画展示室(2F)

「曙覧と蓮月」
特別展を開催

企画展示
(2F)

2階の企画展示室では、県内の茶道美術館が所蔵する茶掛・茶碗・茶杓など茶道具の美術品や資料の巡回展示を行っています。今回訪れたときは、当美術館の

井澤主松平家ゆかりの名品「初花の茶壺」の解説を展示、国指定名勝「養浩館庭園」その中の「日の御茶屋」など近世の茶道の歴史をわかり易く紹介しています。



一葉谷朝貞氏の茶の湯文化などを中心に紹介する常設展示室(1F)

茶道美術館の南側に茶室「尚庵」があります。伝統的な形式を取り入れた本格的な造りの茶室となっています。「尚庵」の名付け親は大本山永平寺、宮崎突保保主で、茶室の梁に掛けられている額「尚庵」は同貫首の御染筆を基に彫刻されたものです。茶室には庭があり、躰も備えられ、躰で囲まれています。内部は、4畳半の茶室に3畳の水屋、4畳半の待合、2畳の寄付があり、3畳程の厨房もあります。

茶室「尚庵」



茶室「尚庵」外観
(木造平屋建 延床面積85.43㎡)

曙覧と蓮月の出会い

大田垣蓮月は寛政3年(1791)京都で生まれる。幕末の女流歌人。名は誠。出家して蓮月と名のつた。曙覧との出会いは、文久元年(1861)の春頃より書簡のやりとりがあったといわれ、その年の秋、曙覧は蓮月の家を訪ねたりしています。

前の構想記念文学館と共催して「曙覧と蓮月―ゆかりの人たち―」特別展が開催中で、茶道美術館では、曙覧と蓮月の資料中「歌と書美の世界」を中心に企画展が開催されています。特に、「大田垣蓮月 和歌集 桜花園(福井市立郷土歴史博物館蔵)」や「曙覧集 和歌屏風(個人蔵)」など2人の作品などを鑑賞、ゆかりの人たちの交流を知ることができました。



足羽神社の境内に継体天皇御世系碑があります。継体天皇(男大迹王)の御世系(系図)を明らかにされたのは橘曙覧が入門した飛騨高山の国学者田中大秀翁です。大秀翁は門人曙覧にこの碑を建てよう促していました。曙覧も同志を募り、弘化4年(1847)11月、ようやくこの碑を完成させました。しかし、大秀翁は落成2カ月前に他界しました。

継体天皇御世系碑

松岡屋吉兵衛の石像



下立矢町(現・足羽1丁目)で商家を営んでいた松岡吉兵衛は文政11年(1828)寄金を集め「愛宕坂」と「百坂」を作り直しました。石段の完成を記念して、携った石工たちが吉兵衛の偉業を称え、彼の石像を建立。福井市立郷土歴史博物館敷地内に残されています。

愛宕山とその周辺

ふるさと文化と史跡を探訪

橘曙覧の歌碑



この歌碑は、昭和43年(1968)橘曙覧没後百年祭を記念して福井市立郷土歴史博物館前に橘井貞雄敬愛堂が建立したものです。碑の表面に曙覧の代表的な和歌「はるにあけて先づみる雪も天地のはじめの時と読いつるかな 曙覧」が刻まれています。(雪があけて先ず古事記をあけてみると、冒頭には天地開闢のことが書かれている面白い意)

細井順子の碑



細井順子は天保13年(1842)下六桑村(現・福井市)に生まれる。大正7年(1918)没。明治9年(1876)宮費伝習生として京都府織工場でパツタン機による製織技術を学び、帰郷後、織工の養成、技術向上に努め織機産業の発展に貢献しました。その業績を顕彰する碑が明治41年(1908)順子6才の時建立されました。(虚空蔵寺境内)

シリーズ
ふくいの
伝統芸能

福井県指定無形民俗文化財

小浜放生祭

小浜市

若狭小浜の放生祭は、毎年9月14・15日に行われる小浜市男山に鎮座する八幡神社の祭礼です。同祭の特徴は5種類の異なる出し物が12基ずつ1年おきに、多彩な芸能を奉納、中には江戸時代絵巻の祭礼を披露するなど、雅な情緒が深い、小浜の町は祭り一色で染まります。この祭りは、昨年4月、県の無形民俗文化財に指定されました。

今年も、若狭路博開幕日と重なり、75年ぶりに市内23の出し物が勢揃いしました。

江戸時代絵巻で出し物勢揃い

放生祭の沿革

八幡神社は、「続日本紀」の宝亀元年(770)8月1日条に名前の見える古社。古来よりこの宮を中心に門前町的に小浜の町は成立したもので、町の氏神でもあ



9月14日豪華な山車が勢揃い



優雅な音律を聞かせる「神楽囃子」

ります。
放生会は、捕らえられた生き物の殺生を戒め、生き物を買集めて放ち、功德をつむ神事で奈良時代から行われてきたといわれています。同神社では、室町時代は流鏝馬、江戸時代には相撲や能などが奉納されていたと記録に残っています。現在、小浜の人々が奉納する放生祭の



太鼓と鉦の囃子に合わせて勇ましく立ち回る棒振り

出し物は、その昔小浜祇園祭が行われていた際、運御のお供として小浜の町衆が出していた出し物であり、明治時代以降、氏子制度の確立や52町が26区へと改変されたことなどにより、祇園祭礼に出し物を出さなくなった後、放生会に出し物を奉納するようになり現在の放生祭に引き継がれています。

現在の放生祭の出し物は山車(9区)、大太鼓(5区)、獅子(4区)、神楽(5区)、神輿(1区)と5種類の出し物がありこのよう多彩な出し物が出る祭りは全国的にも珍しいといわれています。

これらの出し物は、江戸時代に城下の町人町の範囲であった24区が担当し、隔年で12区ずつが出て祭礼行事を支えています。各出し物は、祭当日の14・15日の



小浜市男山に鎮座する八幡神社入口

両日、神社への宮入り、各区の本陣、区外より寄附を頂いたところで奉納や披露を行い、2日間を渡り小浜の街中を巡行します。近年は、祭見物の見せ場ということで、「祭礼委員会」などの働きかけにより、全ての出し物が1カ所に集結して演ずる「共演」の場が企画され、祭り見物の人たちも、十分楽しめる祭りとなりました。

豪華な五つの出し物

山車

飛鳥の舞台型山車を除きすべて屋根付き2階造り、1階の前面に出し物を張り出す。10数曲から20数曲の囃子を持ち、



老若2匹の雄獅子と1匹の雌獅子が締め太鼓を打ちながら勇壮に舞う3匹獅子舞

1階には大太鼓・小太鼓、2階には笛の囃子方が乗り込み道行します。神社や各区の本陣前では、出囃子で子供2人が小太鼓を打ちます。

神楽

神楽の本屋台には獅子頭が載りますが、獅子舞はなく、優雅で繊細な音律の神楽囃子を演じます。本屋台の大小二つの太鼓と笛の囃子で道行、神社や各区の本陣では、前屋台の二つの小太鼓と笛の囃子

フクイ デザインマインド コンペティション2003 公開審査会



輝く金賞 チームGRAPES (武生工業高校)

- ▼金賞 チームGRAPES (武生工業高校)
- ▼銀賞 すもも (春江工業高校)
- ▼銅賞 3ピース (福井養護学校)
- ▼審査員特別賞 only one (三田高校)

社会や普段の生活の中から課題を見つけ創造的な視点で解決法を提案する「フクイデザインマインドコンペティション2003」の公開審査会が、9月26日、福井市の県立図書館で行われました。この会は、県と県外デザインセンターの主催（財団法人協賛）で、1次予選を通過した高校12チームが参加。寸劇や対話を取り入れたり、自作のコンピュータグラフィックスやパネル等を使い、7分の制限時間で、それぞれ趣向をこらしてデザインに至るまでの過程を発表しました。審査は武蔵野美術大学教授中徳氏ら3人が当り、厳選の結果、次のとおり受賞チームが決まり、表彰されました。

財団では、副賞として、受賞者全員に越前漆器製のトロフィーを贈りました。

金賞チーム 発表のあらまし



金賞の喜びを語るGRAPESチーム

問題点と提案理由 今日、国際社会への対応、国際人の育成、異文化の理解を深める、「国際化」はとても大切な事です。私達は毎日学校での英語や世界史の勉強は「国際化」を意味しているような気がします。でも英語が話せれば「国際化」なのでしょいか？

真の国際人になるために 「武道のススメ」提案

真の国際化は「相互理解」にあると考えます。「国際化で大切なものは何か」をインターネットで調べてみました。その結果、「武道」をキーワードに「国際人」を考えてみました。武道の中には体力錬磨のほかに、日本にとって大切な「もの」があります。私達は「武道」をもっと深く理解し活性化する方法として「武道のススメ」を提案します。

解決の方向 まず武道を生活化していく中で身近なものにすることから始ります。そのために考えたのはGRAPES大作戦です。

第2段階では、武道を現在以上に普及すること。第3段階では国際化への舞台にエンジョイすることを考えました。

具体案としては▼武道（剣・柔・弓道）は標定から始める。▼GRAPES・CARDを発行します。こ

これは武道に関する段や級をとった場合などに特権やポイントをつける国際認定カードとします。▼毎月のノーカードデーに合わせ、通学時に明酒の日、袴の日を設ける。▼武道の参加や精進の段階でカードポイント制をとり、国際試合の招待券をあたえたり、用品購入の際の割引券の交付など優遇措置を講じます。

このカードは、真の国際化である「相互理解」に大きな役割を果します。



発表に使われたパネル

大太鼓
直径90センチメートルほどの大太鼓と5〜7個の鉦（かね）による大音響の囃子に合わせ2人1組、または3人1組の棒振りが見事に立ち回ります。また、子供や青年が披露する大太鼓の曲打ちは迫力に満ちています。

獅子
老若2匹の雄獅子と1匹の雌獅子が、笛と歌に合わせて、胸につけた締め太鼓を打ちながら舞います。この3匹獅子舞は、蒲生酒井忠勝公が旧領地の武州川越（埼玉県川越市）から演者を連れてきたも



香取区が担当する放生祭唯一の神輿の渡御

ので、江戸時代の祇園祭には武家「関東組」の人々によって演じられていました。明治維新以後、一番町（雲浜獅子）と、この放生祭に奉納する4区が習い伝統芸能を守っています。

神輿
放生祭に出る唯一の神輿は、香取区が担当しています。八幡神社の御神体を奉載して氏子各区を巡り、夕方宮入りします。

香取区は、江戸時代は「西七町」として参宮の練り子を出していました。現在の神輿は、もともと八幡神社にあったものを同区が譲り受け、巨費を投じて修理し、放生会の出しものとして出しています。

伝統ある祭りを次世代に伝承へ

例年、出し物出番区では、お盆もすぎた8月20日頃から稽古が始まります。子供たちへの囃子の指導や青年の囃子方など、祭本番に向け厳しい稽古が繰り返されます。獅子の曲の種類が多い町内では20数曲にも及び伝承していくことも大変な作業となります。また、9月に入ると本稽古と称し稽古の成果を町内の人々に披露する習わしとなっています。今年も、若狭路博の開催されることもあり、「明日の放生祭を考える会」などが中心となり、9月7日夜、小浜市文化会館で「放生のおはやし会」を開催するなど伝統の音と技を次世代に伝えていく、後継者の育成などに取り組んでいます。

紫式部 (武生市)



公園の中でひとときを輝く金色の紫式部像



ここにかく
日野の
杉むら
埋む雪
小塩の松に
けふや
まがへる
紫式部詠
谷崎潤一郎書

源氏物語の作者紫式部は、長徳2年(998)国司として赴任した父藤原為時

に連れられて、越前国府(武生)を訪れ、武生で1年余りを過ごしたとされています。この平安時代の史実と趣を伝える紫式部公園(武生市東千福町)の北入口に近い庭園に式部が日野山の雪を眺めながら都を想う気持ちを詠んだ歌碑が建てられています。「こちらでは、日野岳に群立つ杉をこんなに埋める雪が降っているが、都でも今日は小塩山の松に雪が入り乱れて降っているのだらうか」(歌の現代語訳)

(交通アクセス)



この歌碑は「源氏物語」にゆかりのある文豪谷崎潤一郎氏が歌詞を揮毫。昭和33年(1958)11月3日文化の日、紫式部顕彰会の手で建立されたものです。碑の表面には国語学者山田孝雄博士が顕彰碑として、この歌を採んだ主旨などを書き留めた誌文が刻まれています。当時、都の女性が地方で暮らすことは

武生市 式部公園

紫式部を顕彰して二つの歌碑

殆どなかった時代で、北陸の冬を経験したり、若狭の国に漂着した唐人(宋人)や異国の文化に触れたことなどは式部にとって大きな刺激となり、その後書かれた源氏物語の執筆に大きな影響を与えたと考えられています。



平安王朝の造園を模して造られた紫式部公園=武生市東千福町

「身のうさは、心のうちに、したひきていま九重に、思ひみだるる」を刻んだ歌碑が建てられています。

この碑は、宮仕えに出ても、憂鬱にみちた身の上を詠んだ式部を偲び、「源氏物語」ゆかりの文学者円地文子氏が、その歌詞を揮毫。同公園が完成した昭和61年(1986)6月に建立されました。

公園は、約一万平方メートルの広大な敷地に、平安時代の貴族の住居(寝殿造)を模して、日野山をはじめ武生盆地を囲む山々を借景に池や築山を配画した寝殿造庭園となっています。

庭園の西側には、金色、十二単衣の紫式部像がひとときを輝いています。この像は彫刻家で文化勲章受賞者園澤勝三氏が制作。武生市制35周年記念事業として昭和61年6月に建立され、武生の文化のシンボルとして広く市民から親しまれています。



式部を偲び作家円地文子氏が揮毫した歌碑

敦賀市立博物館所蔵
逸品絵画誌上展

12

敦賀市立博物館では郷土にゆかりのある作家や師弟関係などつながる近世・近代絵画を系統的に収集しています。



双幅 野田笛浦賛 中林竹溪筆

林和靖図

絹本着色
法量 128・0 X 52・5 cm
江戸後期
賛「仙標不用紅袖袂維徳有隣／必不孤乃有佳人在
空谷感至西／湖高士盧庭夫贈韓香流芳／四氣
人與有誰如君不見當時／南北特兄弟不知有契
約無」
〔繪書影眞／香月寺出道／山奴士持〕

解説

見事な黒墨を蓄えた林和靖が、香の芳しい梅花に囲まれ、悠然と四方を眺めている図です。彼方に雲煙がたなびき梅林と交々たる山々が重なり、空中には和靖が愛育する鶺鴒が舞っています。
本図は南園に範を採りながら、細説で、しかも雄大、力強い筆致で描かれており、竹溪の画が南宗七分、北宗三分と評価される所以もここにあると思われる。

林和靖は、今から千年ほど前、中国・宋の時代の詩人で、故郷の杭州・西湖の畔、孤山に庵を結び、市中に出ることなく詩作に興じた高士（世間から離れ、山林などに隔れている有徳の人）といわれています。
彼の風流三昧の生涯は、後に中国や日本の文人たちに理想と仰がれ、絵の題材としても採り上げられるようになりました。

中林竹溪は、通称は金翁、名は成業、字は紹夫、竹溪は号です。父・南園派の竹澗に学び、のち山本梅逸に師事。特に花鳥画に長じていました。慶応3年（1867）52才で死去。

賛者の野田笛浦は、丹後田辺藩、牧野家の臣、儒者で詩文に長じていました。安政3年（1850）61才で没。

研ナオコ 「LOVE LIFE LIVE」

9/28

懐かしい楽曲・歌声に陶醉 福井



なつかしい曲を熱唱する研ナオコさん

財団では「研ナオコ LOVE LIFE LIVE」と銘打ち、げんぜんふれあいコンサート（日本原電協賛、福井放送後援）を9月28日、福井市のフェニックスプラザで開催しました。
当日は、30年余の芸歴を誇る歌手として、タレントとして幅広く活躍されている

研ナオコさんの出演とあって、会場には約2千人のファンが詰めかけ、トクと懐かしい曲、甘美な歌声に酔いしました。

コンサートは、彼女のデビュー曲「大都会のやさぐれ女」の演歌調の歌曲をはじめ、レコード大賞歌唱賞などに輝いた「愚図」「かもめはかもめ」などを次々と歌い上げ会場を沸かししました。歌の合間には、家庭での子育てや彼女らしい人生論を気どらすユニークに語りかけ、観客を引きつけていました。最後に別れの歌「残されたものの歌」を哀愁こめて歌い、アンコールに応えて、バンド、バックソング、踊りの総上げで「L.A. L.A. L.A.」の歌曲に乗り、手拍子を打って、会場も総立ち、舞台、会場一体となったフィナーレでコンサートを飾りました。

夏休みファミリーコンサート 財団協賛 7/21

親子でクラシック音楽を満喫

福井

親子でクラシック音楽を親しむ「夏休みファミリーコンサート」(主催＝県文化振興事業団、協賛＝当財団)が7月21日、福井市の八一モーターホールふくいで賑やかに開かれました。福井交響楽団と福井ソアーベ児童合唱団が出演し、美しい歌声と演奏で、集った親子約1200人が見て、聴いての楽しいコンサートに満喫していました。



親子でクラシック音楽を親しむ「夏休みファミリーコンサート」(主催＝県文化振興事業団、協賛＝当財団)が7月21日、福井市の八一モーターホールふくいで賑やかに開かれました。福井交響楽団と福井ソアーベ児童合唱団が出演し、美しい歌声と演奏で、集った親子約1200人が見て、聴いての楽しいコンサートに満喫していました。

親子でクラシック音楽を親しむ「夏休みファミリーコンサート」(主催＝県文化振興事業団、協賛＝当財団)が7月21日、福井市の八一モーターホールふくいで賑やかに開かれました。福井交響楽団と福井ソアーベ児童合唱団が出演し、美しい歌声と演奏で、集った親子約1200人が見て、聴いての楽しいコンサートに満喫していました。

財団若狭路博でマジックショー

9/23 24

イリュージョンマジックに感動

小浜



財団では「若狭路博2003」に協賛して、9月23・24日の両日、海会場(小浜市川崎)の交流ステージで日本を代表するイリュージョンニスト安田悠二さん一行とコミック・マジシャン・センジー・一徳さん、青芝モンタさんを招き、マジック・ライブステージを開きました。
両日とも会場を埋めた延1300人の観客は、奇想天外な幻想の演技や笑いを誘う楽しいマジックに会場を沸かせました。

イリュージョンマジックに感動
観客の目線でリンクマジックを披露する一徳・モンタのコンビ
一徳・モンタのコンビは、マジック・ライブステージを開きました。両日とも会場を埋めた延1300人の観客は、奇想天外な幻想の演技や笑いを誘う楽しいマジックに会場を沸かせました。

第7回 福芸社会

落語&歌謡ショーで
ふれあいの輪

林家染二(落語) 林田麻友子(撃)さん 招く

財団では、人にやさしい、ふれあいの輪を広めようと本年度は落語家林家染二さんと演歌歌手林田麻友子さん(日本コロンビア)を招き「落語&歌謡ショー」を企画。10月28日から3日間、県内6福祉施設(別表のとおり)を巡回し福祉演芸会を開きました。



客席の中で歌曲をリードする林田麻友子さん

各施設の会場には車椅子の入所者やデイサービスで訪れたお年寄りなどが開幕30分前に詰めかけ、3日間で延約850人が参加し、ふれあいの輪を広げる演芸会となりました。前段は、林家染二さんが舞台をつとめ、扇子や手拭いを使った落語のルールを笑技で可笑しく表現、地方の言葉(方言)を取り上げた小話を披露したり、題材では、夫婦間の掛け合いを通じた「目録」の滑稽劇を熱

10/30		10/29		10/28	
14	10	14	10	14	10
織田町	美山町	鯖江市	福井市	小浜市	敦賀市
やすらび荘	県美山荘	みどり荘	藤島園	アクール若狭	深山荘



扇子や手拭いを使って小話を披露する林家染二さん

演し爆笑を誘いました。最後に、特技の日本舞踊を生かして「奴さん」を高座の上で踊り大きな拍手が送られました。後半は、林田麻友子さんが「港町十三番地」を歌いながら会場の拍手を浴びて登場。彼女のオリジナル曲

「男・天野屋利兵衛」やおなじみの演歌など歌曲をごぶしのきいた美声で熱唱し会場を盛り上げました。途中、舞台から降り「ソーラン節」や「箱根八里の半次郎」を客席の手拍子やかけ声に乗り、歌をリード、客席のひとり一人に拍手を交わすなど会場に解けた楽しい歓迎に満ちた歌謡ショーとなりました。



手造りの歓迎ステージで熱唱する林田さん

チベット音楽家 バイマーヤンジンさん 文化講演 10/5

敦賀女性ネットワーク協賛 敦賀

財団では、敦賀女性ネットワークと協賛して10月5日、敦賀市ブラザールで、チベットの音楽家バイマーヤンジンさん(大阪府吹田市在住)を講師に招き、コンサートを取り入れた文化講演会を開きました。このイベントは同ネットワークが創立10周年の記念事業の一環として開かれたもので会員ら約350人が参加しました。講師は美しいチベット民族衣装を着用して登場。「親子のきずなの大切さ」をテーマに、流暢な日本語で語り、時折ユーモアを交えて、笑いを誘っていました。演題の核心にふれ、主人と結婚するまでの出会いやチベットの大家族主義に育った習慣の違い、日本における家庭生活での苦労話を切々と紹介。「国の違いがあっても、親子の絆や家族の愛の深さを大切にすることこそ幸せを招く」と訴え



民族衣装でチベット民謡を歌うバイマーヤンジンさん

ていました。トークの後、コンサートに移り、ピアノリスト高瀬佳子さんの伴奏で、チベット民謡「出会いの歌」を原語で、また日本語「赤とんぼ」などを澄みきった豊かな声量で歌い上げ会場を魅了しました。

敦賀市民合唱団 創立50周年記念演奏会 10/19



敦賀市民合唱団創立50周年を祝う演奏会=敦賀市民文化センター

OBも参加、思い出のハーモニー 敦賀

敦賀市民合唱団創立50周年を記念する定期演奏会(同合唱団主催、当財団協賛)が10月19日、敦賀市民文化センターで開催されました。演奏会には団員25名のほかOBら36人も加わったコーラスで思い出深い数々の曲を披露。創立50周年を祝うハーモニーに集った約850人の聴衆を魅了しました。ステージは3部構成で進められ、1部では「思い出の曲」と題し、創団時代から係わってこられた三橋昌幸さん(前同市教育長)が前半、指揮をとり「夕やけこやけ」「敦賀市歌」など15曲を合唱しました。2部では、詩人谷川俊太郎作詞「愛のプロローグ」を、3部では、同合唱団独自にアレンジしたポップスのステージが相まれ、客演指揮者永井英晴氏の指揮で「世界に一つだけの花」など5曲を美しいハーモニーで響かせました。

財団ふれあい通信



第5回ふるさと大賞作品「境内」橋本洋子さん（福井市）

テーマ 21世紀の「ふるさとの風景」

締め切り 12月12日(金) 当日消印有効

主催：(財)げんでんふれあい福井財団

後援：福井県／福井県教育委員会／敦賀市／敦賀市教育委員会

(社)福井県文化協議会／福井県高等学校文化連盟／福井新聞社

福井放送／福井テレビ／嶺南ケーブルネットワーク

協賛：福井県カメラ商組合／富士写真フィルム(株)／(株)福井フジカラー

ふるさと大賞 1点…30万円
 ふるさと賞 3点
 学生5万円1点／一般10万円1点／女性10万円1点
 優秀賞 6点
 学生3万円2点／一般5万円2点／女性5万円2点
 入選 35点〈記念品〉
 学生5点／一般20点／女性10点
 佳作 35点〈記念品〉
 学生5点／一般20点／女性10点

募集要項

応募先

作品の規定

資格

部門

- 主催：(財)げんでんふれあい福井財団
〒914-0051 福井県敦賀市本町2丁目9番16号
(財)げんでんふれあい福井財団
- 福井県カメラ商組合及び福井県内フジカラー取扱店
- ① 福井県内に在住又は学校・勤務先が福井県内であること
- ② 写真の専門家(フジカラーマン)ではないこと
- カラー・モノクロで四つ切り又は四つ切りワイドの標準画幅(縦横六つ切り可)

財団イベント INFORMATION

日英小学生絵画交流展	敦賀市4小学校とイギリス・セラフィールド地区小学校児童絵画	12/6(土)～12/14(日)	敦賀原子力館
		12/16(火)～12/25(木)	げんでんふれあいギャラリー(本町2-9-16)
第6回ふるさと大賞写真コンテスト入賞作品展	(敦賀会場)	平成16年2/3(火)～2/15(日)	同上
	(福井会場)	2/20(金)～2/25(水)	福井市 ショッピングシティ「ベル」

財団ホームページ アドレス <http://www.Genden.or.jp>

「げんでんふれあい福井」第17号
2003年11月発行



(発行) 財団法人 げんでんふれあい福井財団

〒914-0051 福井県敦賀市本町2丁目9番地16号 (日本原子力発電(株)敦賀地区本部4階)
TEL.0770-21-0291 FAX.0770-21-9070